

# 株式会社十勝美濃農場 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日:2025年9月26日

株式会社北洋銀行  
帯広中央支店

## 1. 基本情報

企 業 名	株式会社十勝美濃農場	
代 表 者 名	美濃 志拓	
所 在 地	北海道中川郡池田町川合39番地2	
資 本 金	300 万円	
従 業 員	8名(2025年9月現在:社員4名、アルバイト4名)	
業 種	農業	
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>玉葱、南瓜を中心とした野菜の栽培</li><li>その他栽培品目:キャベツ、ブロッコリー、小豆、醸造用ブドウ、アスパラ</li></ul>	
沿 革	1900年 1955年 1965年 1985年 1986年 2008年 2014年 2015年	香川県より美濃宇市氏が入植 次男 美濃勇高氏が農業を継ぐ 美濃孝一氏が分家 畑作を開始 米作へ転換 畑作へ転換 美濃広由氏(現会長)に経営移譲 株式会社 十勝美濃農場設立 小麦作付をやめ、野菜農家へ 美濃志拓氏が代表取締役就任、美濃広由氏が取締役会長就任 玉葱の作付面積が 30ha をこえ、十勝トップクラスの玉葱農家に

## 2. 経営理念

### 経営理念

大地に感謝し、歴史を未来へ紡ぐ  
人と土を育てる企業に

十勝美濃農場は野菜を育てるのではなく、野菜にとって居心地の良い土を育て、さらに未来の農業者を育てることに尽力している。また、これまでにない革新的な技術開発により、より多収で高品質な農産物を再現性高く栽培する事を可能にしている。革新的な技術の開発には今までの常識にとらわれない柔軟な発想が必要であるという考えに基づき、『農業を楽しむ・未来を創造する力』をキーワードとして、ワクワクを稼ぐ力に変え、新しい農業の姿を提供できる企業を目指している。

### 3. 事業概要

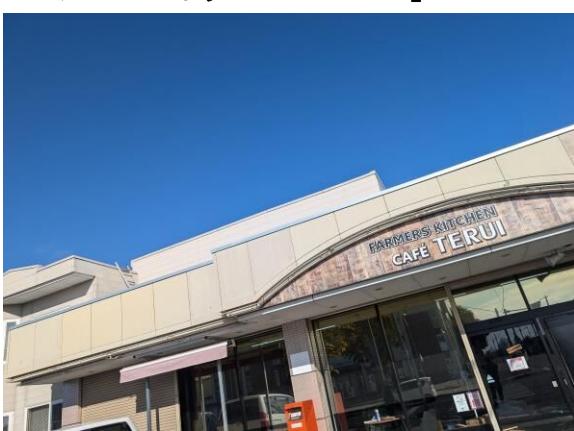
十勝美濃農場は、十勝池田町で野菜をメインに作付けしている農業法人である。玉葱、南瓜を中心とした栽培を行い、玉葱は十勝トップクラスの作付面積を誇る。十勝川の肥沃な沖積土壌を活かして20年前より玉葱の栽培を開始。十勝の豊かな日差しと激しい寒暖差に恵まれ、甘みのある野菜が育つのが特徴で、取扱野菜は日本野菜ソムリエサミットで多数の受賞歴を有している(とろあま玉葱、白ネギ、黄金色のとろけるカボチャ)。肥沃な土壌が化学肥料の削減、輪作が農薬の使用回数の抑制につながり、消費者が安心して食べられる野菜栽培を行っている。

#### ■ 十勝美濃農場で栽培している南瓜、玉葱



また、十勝美濃農場は、池田町内でカフェレストラン「Café TERUI」を運営している。自社農場で収穫した野菜を取り入れたメニューを提供しているほか、収穫シーズンには野菜の直売も行っており、新鮮な野菜を地域住民へ販売する地産地消の推進にも取り組んでいる。地域の消費者との交流を大切にし、地元に根差した事業展開を行っている。

#### ■ カフェレストラン「Café TERUI」



▲ カフェ店舗外観



▲ 収穫された玉葱をたっぷり使用したラーメン

出所：十勝美濃農場 提供資料

日本では農業従事者の高齢化が進んでおり、農業従事者全体に占める65歳以上の割合は7割を超えるとされるが、十勝美濃農場は従業員の平均年齢が30代で、さらに半数以上が女性で構成されている。十勝美濃農場では、将来的な独立を前提とした研修生の受け入れも行っており、同農場で農業の基礎を学んだ人材が独立後も業界内で幅広く活躍している。また、大学からのインターン生も積極的に受け入れるなど、次世代の農業従事者を育成し、農業の発展に貢献している。

さらに、同農場は農業の国際的な持続可能性基準であるJGAP認証を取得し、食品安全、労働安全、環境保全といった観点から持続可能な農場経営を推進している。特にスマート農業の導入によって従業員の作業負担軽減と生産性向上を図り、年齢や性別を問わず取り組める農業の仕組みづくりを進めている。具体的な取り組みとして、自動運転トラクターの導入やドローンを活用した種蒔き、農薬散布などの生産性向上に繋がる取り組みを推進し、従業員が心も体も楽に働ける会社を目指している。

### ■ スマート農機



▲ 玉葱移植機



▲ 玉葱収穫機

従来、大型重機の操縦はハンドル操作が難しく、不安定な農地の上を真っ直ぐ走るには経験と技術が求められていたが、ハンドル自動操縦機能を備えた重機を導入することで、誰でも安定した直線走行が可能となり、農地の効率的な活用に繋がっている。



▲ トラクター



▲ ドローンでの農薬

出所：十勝美濃農場 提供資料

#### 4. サステナビリティ目標

十勝美濃農場の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、十勝美濃農場の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、十勝美濃農場のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

##### (1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会への貢献	
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。	
関連する SDGs		

##### (2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	① 人的資本経営の推進 ② ワークライフバランスの充実
目 標 ・ K P I	① 消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。 ② 正社員の年間総労働時間を 1,923 時間以下にする。
関連する SDGs	 

#### 留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任は負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。